

藤前干潟クリーン大作戦 第1回～第29回までの記録

		参加者	集約ゴミ袋	一人当たり集約数	参加自治会	干潟観察会	水質調査	アンケート	特 徴
2004.10.24	第1回 04秋	240	830	3.46	3				アテネ五輪メダリスト三名が参加・以降第5回まで参加。松原名古屋市長が参加。事後の実行委員会で春秋2回実施を確認
2005.05.08	第2回 05春	430	1,400	3.26	7				多治見から市民団体が初参加
2005.11.13	第3回 05秋	612	2,032	3.32	8				野井の大作戦メンバー、笠原中学生が参加。野井のクリーン大作戦に参加、笠中の里山整備に参加
2006.5.29/28	第4回 06春	—	—	—	—				予備日も含めて2日雨天のため中止
2006.11.05	第5回 06秋	628	1,784	2.84	8				モリゾーキッコロが初参加
2007.05.19	第6回 07春	748	1,314	1.76	8	△			春の大作戦に先立ち4.15ゴミシンボを開催。生物調査会を実施。中堤会場で防災鍋実施・以降毎回愛知防災リーダー会との協力で実施
2007.11.17	第7回 07秋	614	1,284	2.09	8				
2008.05.17	第8回 08春	750	800	1.07	8				
2008.11.16	第9回 08秋	271	—	—	—				直前の雨で中止、支障ない一部学区で実施
2009.05.23	第10回 09春	939	1,018	1.08	8				参加者が900人を超える。
2009.10.31	第11回 09秋	1,190	1,791	1.51	8	37	○		初めて参加者が1,000人を超える。モリコロの外にうながっぱ、ヤマリン、ミーツ・ホーンも参加。流域5地点(4地点)の水質調査を開始、大作戦後干潟観察会を実施
2010.05.29	第12回 10春	1,632	1,800	1.10	9	80	○	○	ペットボトルゴミを減らすためのアンケート実施(以降3回実施)
2010.10.23	第13回 10秋	1,474	2,080	1.41	9	51	○	○	ペットボトルゴミを減らすためのアンケート実施
2011.05.14	第14回 11春	1,483	1,879	1.27	9	44	○	○	マイクロバスで1.0kmまで参加者をピストン輸送。ペットボトルゴミを減らすためのアンケート実施。デポジット制度導入が最大。
2011.11.12	第15回 11秋	1,589	2,293	1.44	9	40	○		マイクロバスで1.0kmまで参加者をピストン輸送。台風12号15号の影響で過去最大のゴミ集約。ペットボトルゴミのアンケート結果を報告。
2012.05.19	第16回 12春	1,821	2,034	1.12	9	57	○		過去最高の参加者。ゴミの集約数は過去3番目。しかし、春としては過去最高を集約。名古屋環境大学が講座を開設。
2012.10.27	第17回 12秋	1,876	1,802	0.96	9	45	○		過去最高の参加者数を更新。ゴミの集約数は過去5番目。
2013.05.25	第18回 13春	1,704	1,224	0.72	9	117	○		第3位の参加者数、ゴミ集約は少ない方から4番目。干潟観察会は初の100人超え。初の枇杷島の名城大学付属高校前会場で85人参加。
2013.11.16	第19回 13秋	1,737	1,573	0.91	9	45	○		第3位の参加者数、ゴミ集約は秋の取組としては過去10回中3番目に少ない集約数。春の状況も含めて希望的観測として、漂着ゴミが減っているのか？
2014.05.17	第20回 14春	1,755	1,523	0.87	9	100	○		10周年記念第20回春の藤前干潟クリーン大作戦として開催。20回で延べ参加者が2万人を超える！
2014.10.25	第21回 14秋	1,928	1,681	0.87	9	103	○		過去最高の参加者。ごみの集約数が、第1回以降の合計で3万袋を越えた。
2015.5.16	第22回 15春	30	—	—	—	—	○		雨のため7年ぶりに中止。スタッフが片付けと水質調査、交流会を行った。
2015.10.24	第23回 15秋	2,424	2,154	0.89	9	120	○		2,424人と過去最高の参加者となり通算参加者数は2万5千人を超えました。収集したゴミ袋は第15回(11秋の2293袋)に次いで2番目の収集となり、通算収集数が30,142袋となり3万を超えました。干潟観察会の参加者は、120人となり過去最高レベルの参加者となった。
2016.05.21	第24回 16春	1,735	1,761	1.01	8	104	○		1,735人と春としては3番目の参加者となりました。収集したごみの量は春として4番目の量となっています。24日の参加延べ数は27,610人となり、収集したごみの量は45Lゴミ武来で3万4千袋を超え、34,057袋となった。干潟観察会参加者(スタッフ含み)は、5回目の100人越えとなった。
2016.10.29	第25回 16秋	2,305	2,081	0.90	9	125	○		昨年秋の2,423人に次いで、2回目の2000人越えの2,305人の参加者となり累計参加者は29,915人と3万人に迫っています。集約したごみの量は、45Lゴミ袋に2,081袋と秋の取組として、3番目の集約量となった。干潟観察会の参加者は、125人と過去最高の参加者となり、5回連続で100人越えとなった。
2017.5.24	第26回 17春	1,724	1,480	0.86	9	79	○		参加者数は、2014年秋以来の1600名台の参加者となりました。又ごみ収集数は1480と2013年春の1224袋以来の少ない数となった。一人当たりの収集数は0.87と1以下となった。
2017.10.21	第27回 17秋	65	—	—	—	—	○		台風21号による雨のため3年ぶり4回目の中止。中部大生24人含むスタッフが三郷の川をきれいにする会の皆さん27人と「上下流交流会」を行った。水質調査は、流域4地点の調査を交流会メンバーで行った。
2018.5.26	第28回 18春	1,661	1,704	1.03	8	82	○	ヨシ植栽に23名	前年秋の雨中止のためか、一人当たりの集約数は久しぶりに1袋を超えました。今回初めてヨシ植栽実験を23名の参加で行いました。
2018.10.27	第29回 18秋	1,086	2,597	2.39	6	130	○	ヨシ見守る会29名	心配された雨も朝方に上がり、好天の下、10会場で事故なく無事に終わることができました。参加者数は雨予報の影響したのか、1,086人ととどまりましたが、集約数は過去最高の2597袋となり、一人当たりの集約数は、2.39袋と、第5回の取組以来の高集約数になりました。干潟観察会、ヨシ植栽を見守る会にも多くの参加がありました。
	秋	34,451	41,919	1.22		719			